

『未来はみんなの手の中にある』

新年あけましておめでとうございます。今日から（北どんは昨日から）新しい一年がスタートします。今年はどうな一年になるのか、とてもワクワクしています。会社としては今年もう一店舗出店を考えています。課題も沢山ありますが、トライアンドエラーを繰り返しながら成長していければと思っています。

さて、新年を迎えるにあたってみんなは今年目標をかかげたりしましたか？「今年は〇〇してやるぞー！」など、それとも「今年はどうな年になるんだろう？」と考えましたか？

年末年始になると旧友などに会うことが増えるのですが、僕の歳（37歳です）になると友達の中でも2つのパターンに分かれてきているように感じます。

それは、新しいことに常にチャレンジしている人とそうでない人。

チャレンジしている人は良くしゃべります。そして、良く質問をしています。色んな友達のテーブルを回り、最近どうなのか？面白いことはあったのか？何に興味をもっていて、自分が何をしてあげられるのか？などです。

一方、そうでない人は、今まであった思い出話やちょっと脚色された武勇伝をひたすら話しています。そして、仕事の話や将来の話になると急に笑顔は少なくなり「誰々にだまされて転職した。」とか「うちの会社は〇〇がおかしい」とか「俺はこんなんだからさー」など、聞いていてもまったくワクワクしない話になります。

話を戻しますが、『どんな一年にするのか』、『どんな一年になるのか』、では言葉は似ていても意味はまったく違います！先の方は自ら目標を決め、どうやったらその目標が実現できるのかを考え日々行動します。後の方は運に任せ、悪ければ運や誰かのせいにします。

Cocorodining にも下記の社訓があります。

『主体的であれ』

人や出来事のせいにしない！何かのせいにしたら成長は止まる。

自らが動き、より良い方向に導け！

※主体的…自分の意思・判断に基づいて行動するさま

目標をもち、チャレンジしていくことは決して難しいことではありません。自らが意志をもち毎日一歩ずつでも進んでいけばいつか必ず目標地点にはいけるのです。

現状維持を目標としないでください！人間は生きていれば毎日歳をとっていきます。生きているだけで衰えていくのですから止まっていて現状維持ができるわけがないからです。

新しい一年を迎えたわけですから、今年は是非小さくても目標を掲げ、去年よりも成長して一年を終われるような年にしてみましょう。未来は運や誰かに決められるようなものではなく、みんなの手の中にあるのですから。

2018. 1. 3 松岡 保浩